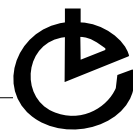


# 議会だより とくのしま



第 191 号

平成 30 年 5 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203  
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



2月15日に開催された三カ町議会議員大会（徳之島町生涯学習センター）

## 第 1 回定例会

3月2日～9日

☆ 一般質問（4氏登壇）

9～11

☆ 議会研修レポート・三カ町議会議員大会

12～13

☆ 審議された案件と議決結果

14

☆ 議会の動き・議会活動スナップ・編集後記

15

# いっばん質問

3月定例会には4人の議員が登壇し、子育て支援、観光、行政、農業政策、ふるさと納税など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## なぜできぬ

## 無料に

勇元 勝雄 議員



**問** 乳幼児医療費を無料にしているのは県下43市町村のうち39市町村。伊仙町、与論町は計画中。残るのは徳之島町と1村だけである。子育て支援の為に徳之島町も乳幼児医療費を無料にすべきではないか伺う。

**答** 豊島介護福祉課長  
12月議会でも答弁したとおり、県と同様、非課税世帯の未就学児を対象とした無料化は30年度も行う予定。全体の無料化は現段階では予定していない。

**医療費の増大につながる**

**答** 高岡町長

生活保護世帯、非課税世帯等社会的弱者に対しては無料化している。過去の論文、研究によると、医療費無料化による特殊出生比率等の解消には効果がなく、それに伴って医療費が増大するとされており、かえって保険税の増税につながる恐れがあると考えられる。無料化については国・県の施策と連携していきたい。

**役場職員、多すぎでは**

**問** 人口も減り、コンピューターも入り、事務も簡素化となったのに6名退職に対し10名も職員を入れなければならないのか疑問に思う。民間の人達

が、どれだけ苦勞しているか考えると職員を増やすべきではないと思うがどうか。

**定員管理計画をもとに採用**

**答** 岡元総務課長

条例上の職員定数は、266名。第五次行政改革推進委員会の答申は、183名。また、町の定員管理計画での職員数は177名で設定している。現時点の職員数は、174名で3名の欠員がある。さらに、平成29度の退職予定者は10名で、今後も定員管理計画をもとに行政需要等を勘案して採用をする。

**水道の石灰をどうかして**

**問** 同じ水道代を払いながら、亀津浄水場から配水されている水は石灰分が多く、多くの住民が困っている。石灰除去装置を入れて石灰分を除去し、石灰のないおいしい水の供給はできないか伺う。

が、どれだけ苦勞しているか考えると職員を増やすべきではないと思うがどうか。

**石灰除去装置導入に向けて**

**答** 琉水道課長

硬度が高いのは以前からの課題。1日の配水量は約1,300トで、この規模の石灰を除去する施設を設置した場合約2億2千万円、年間の維持管理費は約980万円。高

額であることが今まで導入されなかった要因と思われる。次期更新の時に経費のかからない方法を調査し導入できるように検討したい。

その他の質問

- 美農里館について
- 観光について
- 行政について
- 職員の駐車場について



ポットの底にこびりついた石灰



# ワゴン車で

## 乗下船補助

宮之原 順子 議員



**問** 港に置いてある乗下船補助車両は定員が限られており利用しづらいとの声が聞かれる。船を利用する高齢者も多く、階段はきつい。利用者の安全のため、乗下船補助車両にワゴン車購入助成を3カ町でできないか。

**答** 向井企画課長 乗下船時のワゴン補助車購入助成は、3カ町の協議だけでなく、奄美広域事務組合等において、議題として取り上げ検討していく。

### 補助車両導入の協議を

向井企画課長

乗下船時のワゴン補助車購入助成は、3カ町の協議だけでなく、奄美広域事務組合等において、議題として取り上げ検討していく。



船の長い階段

### 携帯電話に災害情報配信サービス

**問** 防災無線放送がききとりにくいとの声がある、多くの町民にわかるように携帯電話にメールサービスができないか。ま

た、電話番号だけで一斉配信できるショートメールサービスの導入を検討できないか。

**答** 岡元総務課長 現在本町が運用している携帯電話への防災情報メールは3,000件単位で登録ができる。3月の広報紙と一緒に登録手順を配布して登録を呼びかけて

### 防災情報メールへ登録を

いるところである。またショートメールサービスについては今後検討していきたい。

### 子育て支援アプリ導入を

**問** 核家族化が進み、地域との繋がりも希薄、出産や子育てに対する不安や負担も大きい。子育て中の保護者が情報をタイムリーに得られるスマートフォン向けの子育てアプリを導入できないか。

**答** 芝健康増進課長 本町で導入した場合、初期経費が百万円かかり、これ以外にランニングコストが毎年かかる。県内で1町が今年度導入したので、その成果等を参考に今後検討していきたい。

### 今後の検討に

核家族化が進み、地域との繋がりも希薄、出産や子育てに対する不安や負担も大きい。子育て中の保護者が情報をタイムリーに得られるスマートフォン向けの子育てアプリを導入できないか。

# 河川の定期的清掃を要求せよ

幸 千恵子 議員



**問** 2級河川の大瀬川は県管理だが、管理不十分で森のようだった。私は、2016年11月に直接県に交渉し、改善した。水

不安解消のため、県に「定期的清掃」実施を要求していただきたい。

### 今後も定期的清掃を要望

**答** 亀澤建設課長 町としても毎年県に対して要望を行っており、今後も要望をしていく。



草が生い茂り対岸が見えない大瀬川

### 国保保険税の 1万円引き下げを

**問** 今年4月から国保の保険者は県になるが、徳之島町の国保税はどうなる。「国保税が高い」「引き下げてほしい」との町民の声もあり、農家が多く加入する国保世帯支援は重要。工夫して1万円引き下げを実施してほしい。

### 現段階では 予定なし

**答** 芝健康増進課長  
30年度から国民健康保険の運営主体が県となり大幅に制度が変わるが、現段階では国保税の引き下げ等の予定はない。

### 生産量・手取 り額減少への 補償はあるか

**問** 今季サトウキビ生産量・農家収入の見込みは。今後も台風被害や冷害など気象状況による影響は出てくると思うが、共済等を含めて台風被害による生産量減少や手取り額減少

に対する補償はあるか。

### 共済金の支出

**答** 東農林水産課長  
今期生産見込量は、11月1日現在5万7931トで、前年度より9242トの減。※共済に加入している農家は、生産量及び平均糖度が確定後、共済金の支払対象になるか検討される。

### ※共済

農業共済制度のこと。農家が自然災害にあった際に被る経済的損失を最小限にとどめ、経済安定を図るために実施されている国の損害保険。

### その他の質問

- ふるさと納税について
- 住宅リフォーム助成制度について
- 子ども医療費について
- 介護保険について

## 保育環境の 充実

### 松田 太志 議員

### 保育の現状

**答** 豊島介護福祉課長  
0歳児保育の希望が多く保育士確保が困難な状態

**問** 厚生労働省が10年ぶりに改定した「保育指針」を徳之島町はどのように理解し、待機児童問題や、子育て支援員研修を充実させていくのか。

で、0歳児の待機が懸念される。28年度に続き29年度も子育て支援員研修を行い、合計で50名の支援員を養成した。22名が保育所で勤務しているので、今後スキルアップ研修を行い、保

育士資格の取得に向けた取組を検討する。

### しっかりと対応する

**答** 高岡町長  
保育環境の充実は、過去の論文、研究によると、特殊出生比率等の解消に効果があるとされている。子育て支援員の研修には、しっかりと対応していきたい。

### その他の質問

- 郷土を愛する「愛郷心」教育について



みなし保育士の交付を受ける受講生

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局

☎ 82-1111 (内線 331 番)

### 定例会の様子をインターネットで ご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。  
(※インターネット回線の状況により繋がりにくい場合があります。)



# 議員研修レポート

1月30日に鹿児島市で議會議員研修会が行われました。その内容を各常任委員がレポートします。

総務文教厚生委員 幸 千恵子

## 演題 「チベットと日本、異文化を超えて」

講師 バイマールヤンジン氏（チベット音楽家）

今年1月30日、町村議

會議員研修会がありました

は少なく、離島のハンディ

の少ない機会を生かすべ

く多くの議員が参加しま

した。今回は、民族衣装

をまとった素敵な女性が、

流暢な日本語で、日本と

チベットの違いで受けた

カルチャーショックと、祖

国への思いから頑張った

ことなどユーモアたっぷ

りに語って下さいました。

熱い思いで夢を叶えて

いく姿、それも、自分の

ためというより祖国の子

ども達のために奮闘する

姿に心打たれました。

バイマールヤンジンさん

は、チベット出身。遊牧

民として生計をたてる家

庭の11人兄妹の9番目。貧

しい暮らしの中でお兄さん

をはじめ家族や地域の支援

で大学卒業。現在は、大阪

吹田で、日本人の夫、小学

6年生の息子、夫のご両親

の3世代で暮らしている。

チベットでは牛の糞が

燃料。電気はなく洗濯は洗

濯板を使っている。日本に

来たときはチベットとの違

いにびつくり。家事は電化

製品がやっつけてくれるし、炊

飯器や洗濯機、お風呂な

ど、様々な音で知らせられ

ることにいちいち驚いた。

チベットでは整備されてい

ないガタガタ道がほとんど

で、出身地の「ガワ」まで

は順調にいつて2日かかる

という状況。日本では交通

機関が発達しとても便利。

はじめてお義母さんに

会った時、お義母さんは60

歳を過ぎていたが髪の毛は

金髪。職場へは車で出勤し

ている。自分の母親は一生

懸命働いても苦しい生活。

チベット人と日本人は顔も

よく似ているのに生活状況

はなぜこんなに違うのか。

ある日お義父さんに聞く

と、「教育のおかげだ、島

国の日本は資源もない、一

生懸命人を育てた、学んだ、

腕（技術）を磨いた」と教

えてくれた。

お義母さんにも聞いて

みた。戦争中、ハルピンで

5年間暮らした。冬はマイ

ナス30度。1個の卵を家族

5人で食べる生活だった。

終戦を迎え、船で1年か

かかって日本の港へ着いた。

しかし、国は焼け野原、先

祖の田舎に身を寄せるなか

一番下の妹が亡くなった。

こんな大変な中で日本人は

歯を食いしばり頑張ってきた。

だから今がある。人間

は湯川秀樹さんのように人

に希望を与えられるような

生き方をせなにかん。あんな

も頑張れ」と言われた。

故郷のために何をすれ

ばいいかわからないでいた

が、お義母さんの一言で燃

えた。動かなきゃいけない

い、やっぱ教育だ、学校

を作るう。アルバイトをし

て一生懸命お金を貯め、3

年半で学校を建てた。現在

では、小学校9校、中学校

1校を開校し3千人以上の

子ども達に教育支援を行っ

ている。



## 「大相撲の魅力・放送席から見た半世紀」

講師 日本福祉大学生涯学習名誉センター長

客員教授（元NHKアナウンサー）杉山 邦弘 氏

経済建設委員 行沢 弘栄

杉山邦弘氏は、スポーツ

アナウンサーとして各種

のスポーツ放送を担当。

なかでも、大相撲放送は

半世紀以上に渡って、継

続して担当。この道の第

一人者である。

「今日の御縁に感謝いた

します。今日の出会いに

感謝いたします。私は、

出会いは人生の道しるべ

この言葉を大事にしなが

らずと過ごしてまいり

ました。」独特の口調で

これまで65年の出会いの

中から、冒頭、鹿児島出

身の力士とのなつかしい

話もたくさんされた中で

も、横綱46代朝潮太郎（徳

之島町井之川出身）とは

ずいぶん親しくされてい

たようで、亡くなられた

数時間後に病院に駆けつ

けて足を撫でたそうです。

「いい人でした。相撲は強

かったけれども、人柄も

いいひとでした。」と。ま

その他、若島津と高田

みずえさんとの鹿児島城

山での結婚披露縁の司会

や現在の出身力士の本場

所での取り組みの様子を

細かく話をされました。

大相撲は伝承文化と言わ

れます。日本書紀には、西

暦642年に賓客をもて

なす為に相撲を取らせた

ということが、表記され

ている。これまで何十年

と積み重ねてきているの

が大相撲。また相撲は神

の祭りごとと関わりがあ

るといわれ、西暦726

年日本中が大豊作に恵ま

れた聖武天皇が勅令を出

して21のお社に感謝の気

持ちを供えて、力人（現在でいうお相撲さん）に相撲を取らせた。そのお社の一つが伊勢神宮だそうです。「本場所が開催される前日には土俵祭りがありますが、行事さんが神主さんの格好をしていろいろな祭りごとをする。お相撲さんが土俵に上がる際の動作すべてが儀式で、神様の前で相撲を取らせていただきますという意味がある。いろいろな力士がおりますが、このようなことを踏まえた教育が大事だ」という事も言われました。



相撲というものでこれまで長い道のり、歴史をへて今日があると、その神髄は何かというと、日本が大事にしてきた精神的な文化である。それは「抑制の美」。

## 三カ町議会議員大会及び研修会

徳之島三カ町議会議員大会及び研修会が2月15日、徳之島町生涯学習センターで開催されました。3町の議会議員、3町長、禧久伸一郎県議が出席し、会長あいさつ、来賓祝辞、国政報告（メッセージ朗読）、県政報告がありました。また、天城町から提出された議題が採択されました。

その後、写真家でアマミノクロウサギ生態研究家の浜田太氏により「奄美の森からの報告」ここまでわ

かったアマミノクロウサギの生態」と題して研修が行われました。

徳之島三カ町の提出議題は、次のとおりです。

### ■提出議題

平土野港多機能港湾新設整備について

天城町平土野港は東シナ海側に面し、徳之島西海岸の良さを十分生かせる地勢であります。

鹿児島・奄美群島・沖縄航路など離島航路のターミナルとして、また地域経済・



研修中の議員の皆さん

産業を支える生活物資・産業資材等の流通基地として大きな役割を果たしており、徳之島三町2万4千人の島民にとってなくてはならない重要港湾であります。

しかしながら現在の平土野港は、北西及び南西の季節風や台風の影響による影響を受けやすく、定期船や貨物船等が接岸出来ないことが度々あり、生活物資・農畜産物・産業資材等の輸送に多大な支障を来しております。

近年はクルーズ船の観光客も増えつつありますが、定期航路と連携を図りながらの寄港を余儀なくされています。又、上記の風波により入港出来なかった事案や台風影響による定期航路の緊急入港のため、三度も離接岸を繰り返した事案も発生しております。

国土交通省港湾局は島嶼部での大型クルーズ船寄港地開発に関して奄美大島と

徳之島をモデルケースに実施した調査・評価を、去年8月に発表しました。徳之島では唯一平土野港が候補地とされており、今後の展望を大いに期待しているところです。

近代的な多機能港湾整備が実現されますと、年間の利用率はより高いものになり、近海で操業する大型漁船等の乗組員の休養・燃料補給・物資調達の支援や、30年夏の世界自然遺産登録によって、船を利用した更なる観光客の増加が地域経済活性化の一端になるものと期待されます。

天城町平土野港には、定期旅客船や大型観光クルーズ船・貨物船・タンカーが安定して寄港できる港湾建設最適地として、現在の港湾隣接地に、季節風による風波の影響も少なく、静穏度の高い「喜治海岸」があります。

この様な観点から、徳之島子宝空港を含む現平土野港と一体化した多機能港湾の新設整備実現を強く要望するものです。

## 次回の定例会は6月です

皆さんで議会を傍聴してみませんか。  
手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
☎ 82-1111（内線331番）

3 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果	
<b>(議案)</b>		
・特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定	原 案 可	決 済
・徳之島町教育委員会教育長の給与及び勤務時間の特例に関する条例の制定	原 案 可	決 済
・徳之島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	原 案 可	決 済
・徳之島町機能性植物加工センター設置条例の制定	原 案 可	決 済
・徳之島町受精卵センター設置条例の制定	原 案 可	決 済
・徳之島町林道管理条例の制定	原 案 可	決 済
・徳之島町課設置条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町町営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町手数料条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町介護保険条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町都市公園条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・徳之島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原 案 可	決 済
・工事請負変更契約（総合運動公園屋内運動場建築工事 1 工区）	可	決 済
・工事請負変更契約（総合運動公園屋内運動場建築工事 2 工区）	可	決 済
・工事請負変更契約（総合運動公園屋内運動場建築工事 3 工区）	可	決 済
・徳之島町町道の認定	可	決 済
・徳之島町町道の延長幅員の変更	可	決 済
・農業委員の選任（盛則男氏）	同	意 済
・農業委員の選任（東博光氏）	同	意 済
・農業委員の選任（武島光子氏）	同	意 済
・農業委員の選任（林慶造氏）	同	意 済
・農業委員の選任（白山明氏）	同	意 済
・農業委員の選任（爲島良一氏）	同	意 済
・農業委員の選任（原田辰法氏）	同	意 済
・農業委員の選任（村山佐エ明氏）	同	意 済
・農業委員の選任（木場友広氏）	同	意 済
・農業委員の選任（藤田喜文氏）	同	意 済
・農業委員の選任（琉和栄氏）	同	意 済
・農業委員の選任（内博行氏）	同	意 済
・農業委員の選任（川畑政一氏）	同	意 済
・農業委員の選任（平山正也氏）	同	意 済
・平成 29 年度一般会計補正予算（第 5 号）	原 案 可	決 済
・平成 29 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可	決 済
・平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可	決 済
・平成 29 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可	決 済
・平成 29 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可	決 済
・平成 29 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可	決 済
・平成 29 年度水道事業会計補正予算（第 4 号）	原 案 可	決 済
・平成 30 年度一般会計歳入歳出予算について	原 案 可	決 済
・平成 30 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可	決 済
・平成 30 年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算	原 案 可	決 済
・平成 30 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可	決 済
・平成 30 年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可	決 済
・平成 30 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可	決 済
・平成 30 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	原 案 可	決 済
・平成 30 年度水道事業会計歳入歳出予算について	原 案 可	決 済



議会の動き

- 12月 13日 第1回徳之島町町制施行60周年記念実行委員会
- 19日 第1回議会だより編集委員会
- 21日 三カ町議会議員連絡協議会事前協議会
- 26日 第2回議会だより編集委員会
- 1月 2日 平成30年成人式
- 5日 平成30年徳之島町消防団出初め式
- 9日 全員協議会・第3回議会だより編集委員会
- 9日 賀詞交換会
- 11日 公明党奄美ティダ委員会新春政経会及び懇話会(奄美市)
- 19日 観光連盟新年会(天城町防災センター)
- 20日 新春書き初め展覧会および授賞式(天城町防災センター)
- 26日 奄美群島振興開発総合調査に係る意見交換会(奄美市)
- 30日 議員研修会(鹿児島市)
- 2月 6日 赤土新ばれいしょ「春一番」出発式
- 9日 三カ町議会議員連絡協議会役員会
- 15日 徳之島三カ町議会議員大会・研修会
- 20日 第69回町村議会議長定期総会(鹿児島市)
- 26日 議会運営委員会
- 27日 大島郡町村議会議長会定期総会等(奄美市)
- 28日 第2回徳之島町制施行60周年記念事業実行委員会
- 3月 2日 第1回定例会開会
- 9日 第1回定例会閉会
- 16日 第1回議会だより編集委員会
- 14日 各中学校卒業式
- 23日 各小学校卒業式

議会活動スナップ



全国町村議会議長会の自治功労表彰(在職15年以上)

表彰を受けた保岡議員(写真左)と是枝議員(写真右)



平成30年度当初予算審査の様子

編集後記

春の陽気で、町の中は色とりどりの花が咲き花の好きな私にとっては、癒し・発見・感動の日々です。

平成30年度がスタートし、早2ヶ月が経とうとしています。

それぞれが迎えた環境の変化にも、少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。

今年、令和33年4月に亀津町と東天城村が合併して、60年の記念の年、夏には世界自然遺産登録が予定されており、5月

には12年ぶりに本町で郡の議員大会が開催されるなど、なにかと忙しい一年になりそうです。

さて私たち議員も任期満了を迎え、5名で構成する議会広報編集委員会も今回の議会だより発行をもって終わることにいたします。

この間、町民の皆様へ議会の活動等を知っていただくため、わかりやすい、読みやすい、紙面を心がけてきました。

ご愛読そしてご意見をいただきました。どうございました。

6月定例会からの議会だよりは新体制の編集委員会が発行することになります。今後ともご愛読よろしくお願ひします。

文責 宮之原 順子

